

企 画 名：ネオニコチノイド系農薬規制を実現するプロジェクト

団 体 名：国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン

1. 報告要旨

グリーンピースでは、持続可能な農業「人間（農業従事者、消費者）にも、生態系にもやさしい農業」が一般的となる社会を目指し、2016年までに2013年時点でのEUと同等のネオニコチノイド系農薬の規制を実現するための活動を2013年末から開始した。まずは、2014年4月からの本格的な活動に向けて、消費者の行動や考えを理解するためのマーケットリサーチを行った。そして、その結果に合わせたデザインのキャンペーンキャラクターを作成しFacebookやウェブサイトを利用したキャンペーンの準備を行った。また生産者の有機農法との関わり方や、農薬に対する思いなどを集めた証言をビデオに記録した。[このビデオはグリーンピースのウェブサイト](#)で順次公開されている。

キャンペーン開始の準備を進めると同時に、ネオニコチノイド系農薬の一つで、すでにEUで規制が開始されているクロチアニジンについて、政府が残留農薬基準を緩和しようとしていることについてパブリックコメントが募集されたため、急ぎよFacebookやTwitterを使って広く市民にパブリックコメントを書いて提出するように呼びかけた。その結果、[グリーンピースのFacebookでシェア数1240を獲得](#)。通常数十通という農薬規制に関するパブコメだが、今回は[1657件のパブコメが寄せられ、その99%が規制緩和に反対する内容](#)という結果になった。

パブコメ期間が終了した後も、[グリーンピースのウェブサイト](#)で緊急オンライン署名を開始（1月17日から2月13日）。この署名はグリーンピースのFacebookやTwitter、そしてメルマガ購読者などを通じて広がり、約4週間で12,739筆もの署名が集まった。その後、2月、3月にNGO4団体（ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議、日本有機農業研究会、ネオニコチノイド系農薬中止を求めるネットワーク、反農薬東京グループ、グリーンピース・ジャパン）で厚生労働省や農水省に署名を提出・申し入れを行う。この活動は朝日新聞、共同通信、東京新聞、河北新報、毎日新聞、Yahoo!ニュース、デイリースポーツ、オルタナ、西日本新聞、毎日新聞（東京）、毎日新聞（名古屋）、毎日新聞（札幌）、山陰中央新報（松江）、四国新聞（高松）、岩手日報（盛岡）、毎日新聞（札幌）、日本消費経済新聞などで報道された。その結果、厚生労働省は2014年3月に[規制緩和の是非について再審議を決定](#)した。2014年4月からは、グリーンピースのグローバルなネットワークを活かしてキャンペーンを強化していく予定。

2. 成果物

1. 食に関する意識調査
2. [bee my friend キャンペーンロゴマーク](#)
3. [bee my friend Facebook グループ](#)
4. [生産者への聞き取り調査ビデオ](#)（ウェブサイトで公開されている）
5. [緊急オンライン署名のウェブサイト](#)
6. [ブリーフィングペーパー 「EUで開始されたネオニコチノイド系農薬の規制に関して」](#)
7. [クロチアニジンの残留基準の緩和の凍結とネオニコチノイド系農薬の毒性評価の見直しを求める要請書](#)
8. 厚生労働省への申し入れ後などに報道された新聞記事 2013年11月~2014年3月まで合計記事57件
9. 厚生労働省の作業部会の委員に農薬の資料を送付